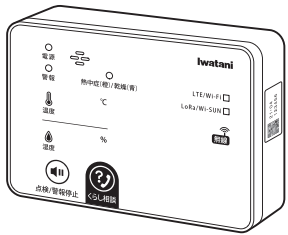


イワタニゲートウェイ
ネットワーク機能付
無線連動型 ゲートウェイ本体

型式名 RP-692

取扱説明書 [保証書付]



- 無線連動型 ゲートウェイ本体をお取り付けいただきありがとうございます。
- この取扱説明書は無線連動型 ゲートウェイ本体の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、下ページに保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失した、内容に不明な点があった場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

〈ゲートウェイ本体について〉

- 本ゲートウェイ本体は、LPガス検知部との無線通信により、連動して警報を発するものです。
- 本ゲートウェイ本体単体では、ガス警報機能は働きません。
- 「熱中症おしらせ機能」は、ゲートウェイ本体周囲の環境条件から熱中症注意の目安を示し体調管理などにお役立ていただくもので、熱中症を防止できるものではありません。
- 「乾燥おしらせ機能」は、ゲートウェイ本体周囲の環境条件から空気の乾燥をお知らせし健康管理などにお役立ていただくもので、インフルエンザなどを防止できるものではありません。
- 本ゲートウェイ本体は、LTE回線からクラウドにアクセスを行い、様々な情報の送受信を行うことができます。
- 通信接続は、いかなる通信環境での使用を保証するものではなく、お客さまがお使いの環境によっては、ゲートウェイ本体との接続・通信ができなかったり、接続・通信に時間がかかったり、ご使用時の一時的な通信断が発生する場合がございます。ご了承ください。
- 本ゲートウェイ本体は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。

総発売元 **岩谷産業株式会社**
製造元 **新コスモス電機株式会社**
〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 TEL 06(6308)3155(代)

無線連動型 ゲートウェイ本体

型式 RP-692

このたびは、無線連動型 ゲートウェイ本体をお買い求めいただきありがとうございます。正常な使用状態での故障の心配はありませんが、万一、保証期間中に異常を生じた場合は、速やかにお問い合わせの販売店に連絡し本書を提示してください。

次の要領で下記の記事が点検または交換いたします。

●保証期間

●保証の範囲

●保証適用

●保証適用除外

●保守点検

（実施者）販売者（販売店名は必ず記入してください）

（保証者）総発売元製造元

岩谷産業株式会社
新コスモス電機株式会社

※保証の適用除外

この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。

(1) 使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。

(2) 火災、天災、異常電圧、異常温度等の不可抗力による故障および損傷。

(3) 取付位置が腐食、高温多湿等耐く不適当な場所および浴室に取り付けた場合。

(4) 水や蒸気はけれ等の液体、動植物による故障または損傷。

(5) その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷。

(6) 本書の提示がない場合、ただし本書は日本国内のみ有効です。

(7) 本書に販売者の記入のない場合。

(8) その他販売者、製造元および発売元の責任にのらない汚損、故障または損傷。

(9) 家庭用以外の用途で使用された場合。

(10) ゲートウェイ本体に故障が認められない場合。

※お願い

(1) ゲートウェイ本体の動作確認は、点検/警報停止スイッチを押して点検してください。

(2) 本書は再発行しません。紛失しないように大切に保管してください。

(3) ゲートウェイ本体の標準使用期間は、取り付け日から10年後です。

標準使用期間を過ぎたものは通信エラー、警報を発しないなどの誤動作の恐れがあります。標準使用期間が過ぎましたら、必ず新しいものとお取り替えください。

※ お客さまにご記入いただいた個人情報、保証期間内の無償点検・交換対応および安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

※ この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

※ This warranty is valid only in Japan.

お取引日

年

月

日

ご芳名

TEL

ご住所

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合」が想定される。

警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「必ず行う」事項を示しています。

「水ぬれ禁止」事項を示しています。

「火気厳禁」事項を示しています。

「ぬれ手禁止」事項を示しています。

「分解禁止」事項を示しています。

「一般的な禁止」事項を示しています。

危険

ガス検知部を設置している部屋にいる場合は、ガス検知部のガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などにより、爆発のおそれがあります。

必ず行う

火気厳禁

禁止

禁止

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

火気厳禁

火気厳禁

禁止

禁止

ガス検知部を設置している部屋と異なる部屋にいる場合は、ガス検知部のガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などにより、爆発のおそれがあります。

必ず行う

火気厳禁

禁止

禁止

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

火気厳禁

火気厳禁

禁止

禁止

ガス検知部、ゲートウェイ本体の電源プラグを抜かないでください。

必ず行う

水ぬれ禁止

禁止

禁止

常に電源が入っていること（緑（電源）ランプ点灯）を確認してください。

電源が入っていないとガスもれが発生しても、警報を発しません。

水ぬれ禁止

禁止

禁止

必ず行う

分解禁止

禁止

禁止

分解や改造はしないでください。

故障の原因となります。また、電波法に基づく特定小電力無線機器の分解や改造は法律で禁止されています。

分解禁止

禁止

禁止

電源プラグは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損のおそれがあります。

必ず行う

火気厳禁

禁止

禁止

電源プラグにはコリが付着している場合は、よく拭いてください。

火災の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれ手禁止

ぬれ手禁止

電源プラグは、コンセントの奥まで確實に差し込んでください。

必ず行う

火気厳禁

禁止

禁止

感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損のおそれがあります。

感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損のおそれがあります。

禁止

禁止

禁止

注意

必ず行う

禁止

禁止

ゲートウェイ本体をお手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてください。

感電やけがの原因となります。

禁止

禁止

禁止

無線を使用される際のご注意

- 本製品は電波法の工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。
- 日本国内のみで使用できます。
- 分解や改造したり、無線認証ラベルを剥がしたりすると、法律で罰せられることがあります。
- 本製品のWi-Fiは2.4GHz帯および5.2GHz帯の2種類が使用できます。
- 法令により許可された場合を除き、5.2GHz帯の屋外利用は禁止されています。

各部のなまえとはたらき

●緑（電源）ランプ

通常は点灯しています。ゲートウェイ本体またはガス検知部が故障しているとき、ガス検知部との通信エラーしているときは高速点滅します。

●赤（警報）ランプ

ガス検知部から警報を受信すると、点灯します。

●温度表示*1

●温度表示*2

●点検/警報停止スイッチ

警報音を停止させたり、定期点検するとき、ガス検知部との無線通信状態の確認、快速環境おしらせの確認、緑（電源）ランプが高速点滅時の音声を確認するときなどに使用します。

●くらし相談ボタン

お客様相談室に連絡するときを使用します。

※詳細はP.6を参照ください。

●警告スピーカー

ガス検知部から警報を受信すると音声合成音が鳴ります。また、熱中症の警報、危険があるとき、音声合成音になります。

●LTE/Wi-Fiランプ

使用中は消灯しています。故障しているときに赤または緑ランプで、点灯または点滅します。

※点滅または点灯時はP.8-9を参照ください。

●二次元バーコード

●LoRa/Wi-SUNランプ

使用中は消灯しています。故障しているときに赤または緑ランプで、点灯または点滅します。

※点滅または点灯時はP.8-9を参照ください。

●快速環境おしらせランプ

熱中症おしらせは橙ランプ、乾燥おしらせは青ランプが点灯します。

動作の詳細は、P.5の「快速環境おしらせ」を参照ください。

●電源コード

コード長さは約2.5mです。

温度表示（*1）・温度表示（*2）についてのご注意

- ゲートウェイ本体に表示される温度表示と湿度表示は、設置場所の環境における目安の温度と湿度です。正確な温度と湿度を保証するものではありません。
- 導入直後は温度表示、湿度表示の数値が安定しない場合があります。
- 温度表示は、ゲートウェイ本体を壁面に取り付けると、テابلなどの天板に設置するよりも少し高めの温度を表示する場合があります。
- ゲートウェイ本体にエアコン、または扇風機などの風が直接あたると、温湿度表示にずれが生じます。

■ランプのつきかたについて

ランプの点灯、点滅、高速点滅は、次のようになります。

点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5秒周期)	
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.25秒周期)	

ネットワーク機能について

通信機能内蔵型ゲートウェイ本体

本製品は、ゲートウェイ本体に通信機能が内蔵されており、常時クラウドにつながっています。ゲートウェイ本体は、無線を通じてガス検知部やガスメーターと無線でつながっています。

くらし相談ボタンで安心を提供

くらしの中で困りのとき

くらし相談ボタンを押してください。

お客様相談室に連絡され、お客様相談室から折り返し連絡があります。

ゲートウェイ本体の使用方法

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

緑（電源）ランプが点滅し、ゲートウェイ本体がガス検知部と連動に入る準備状態になります（最大2分間）。温度表示、湿度表示は、1分間、温度「-」、湿度「-」を表示します。

2 ゲートウェイ本体の緑（電源）ランプが点滅している間に、ガス検知部の電源プラグを差し込みます。

ガス検知部の緑（電源）ランプが点滅を開始し、無線通信の確認を行います。

3 電源に接続してから最大2分後、無線通信が確立すると、「正常です ガス検知部の電波が受信できています」と鳴ります。その後、電波強度に応じて以下の3種類の音が鳴り、緑（電源）ランプが点灯し、ガス検知部と運動状態に入ります。

【電波強度】

電波強度（強）：「ピーーピーー」

電波強度（中）：「ピーーピーー」

電波強度（弱）：「ピーー」

※ 電波強度（中）（弱）ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度（中）（弱）の場合は販売店に連絡してください。

※ ガス検知部と無線通信が確立できなかった場合は、緑（電源）ランプが高速点滅します。点検/警報停止スイッチを押すと、「ビッピッピッ ガス検知部の電波が受信できません」と鳴ります。

※ ゲートウェイ本体が故障している場合は、緑（電源）ランプが高速点滅します。点検/警報停止スイッチを押すと、「ビッピッピッ ゲートウェイ本体故障です」と鳴ります。販売店までご連絡ください。

正常です

ガス検知部の電波が受信できています

LTE/Wi-Fi、LoRa/Wi-SUNの無線通信の確認

電源を入れるとLTE/Wi-Fiランプ、LoRa/Wi-SUNランプが緑色に2秒間点灯した後、消灯します。その後、通信確認などで、しばらくの間はランプの点灯または点滅があります。通信確認後、通信が正常な場合はランプが消灯します。使用中はランプは消灯しています。

- ※ LTE/Wi-Fi、LoRa/Wi-SUNの通信エラー、故障時は、赤色または緑色のランプが点灯または点滅します。（P.8の無線通信に関するエラー表示を参照）

快速環境おしらせ機能について

ゲートウェイ本体周囲の温度・湿度が規定値以上になると、おしらせする機能は、電源投入後1時間はゲートウェイ本体を設置環境になじませるため作動しません。

ガス検知部が作動したら

1 『ウーウーピッピッピッピッ ガス検知部が作動しました。確認してください』

と鳴ったときの処置のしかた
【赤（警報）ランプが点灯】
ガス検知部を設置している部屋にいる場合は、以下の確認をしてください。

緑（電源）ランプ点灯

赤（警報）ランプ点灯

ウーウー
ピッピッピッピッ
ガス検知部が作動しました。
確認してください。

危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などによる爆発のおそれがあります。

マッチやライターなど火気を使わないでください。

火気厳禁

火気厳禁

禁止

禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

禁止

禁止

禁止

禁止

電源プラグを抜かないでください。

禁止

禁止

禁止

禁止

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやみます。

【赤（警報）ランプ消灯】

4 ガスもれの原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

2 ガス検知部を設置している部屋の外から警報音に気づいたときの処置のしかた

ガス検知部を設置している部屋と異なる部屋にいる場合は、以下の確認をしてください。

危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しないでください。
爆発のおそれがあります。

1 部屋に入らない。

ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガスメーター近くのメータガス栓を閉める。

メータガス栓を開けるときは販売店にご連絡ください。

3 ガスがなくなれば、警報音が停止する。

処置をしても警報音が鳴りやまないときは

販売店へ連絡してください。

おねがい

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

3 処置をしても、警報音が鳴りやまないときの処置のしかた

販売店へ連絡してください。

おねがい

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

4 異常がないのにガス検知部が作動し、警報音が鳴ったり、赤（警報）ランプが点灯したときの処置のしかた

ガス以外の空気の汚れで、ガス検知部の警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

- 点検/警報停止スイッチを押すと、ゲートウェイ本体から鳴っているガス警報の警報音は1分間止めることができます。
- ※ ゲートウェイ本体の点検/警報停止スイッチを押しても、ガス検知部から鳴っているガス警報の警報音は止まりません。
- ※ ガス検知部周囲の空気の汚れが十分換気できていない場合は、停止時間経過後に再び警報音を発します。

快速環境おしらせ

このゲートウェイ本体には、「熱中症」と「乾燥」をおしらせする機能があります。ゲートウェイ本体周囲の温湿度が規定値を超えるるとランプが点灯してお知らせします。また、ディスプレイには現在の温度と湿度を表示します。

- ※ 電源投入後1時間は、ゲートウェイ本体を設置環境になじませるため、快速環境おしらせは作動しません。

熱中症について

熱中症とは、高温環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。

■ 熱中症を引き起こす条件

・気温が高い

・湿度が高い

・風が弱い

・日差しが強い

激しい労働や運動によって体内に著しい熱が産生される

暑い環境に体が十分に対応できていない

熱中症を引き起こす可能性あり

■ 特に注意を要する事項

- 1 幼児・学童は体温調節機能が未発達であり、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
- 2 65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者は発汗能力や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
- 3 肥満者は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
- 4 仕事や運動（スポーツ）に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人は熱中症を発症しやすい。
- 5 基礎疾患（高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など）のある人、寝たきりの人、熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人。
抗コリン作用のある薬（鎮痙薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬）は発汗抑制を来たす可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやす。
- ※ 興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬*は体温調節中枢を抑制する可能性がある。
- ※ 医薬品添付文書に、「発汗（あるいは体温調節中枢）が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」との記載のあるもの。
- 6 発熱、下痢、二日酔い等、体調不良の場合は発症しやすい。
- 7 農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う場合。
- 8 急激に高温となった作業場（例えば6月以前）。また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動（涼しい場所から高温の場所へ）の場合および気象変化などで急激に高温となった場合など。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3より

熱中症予防のための水分補給について

■ 水分・塩分補給の目安

- 1 日常生活における水分補給：基本的に、不感蒸泄や発汗による水分の補給が必要である。睡眠時、入浴時にも発汗する。就寝前、起床時、入浴前後にコップ一杯（約200ml）の水分を補給する。
日中はコップ半分程度の水分を定期的に（1時間に1回程度）補給する。のどの渇きを感じる前に水分補給を心がける。特に高齢者は口渇感等の感覚が衰えており、十分に注意する必要がある。
- 2 運動時や作業時の補給：水分の補給量は体重減少量の7～8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。大量に発汗する運動時や作業時には水分と同時に塩分補給が重要である。0.2%程度の塩分を含む水分を補給するように掛ける。
- 作業前：コップ1～2杯程度の水分・塩分を補給する。
作業中：コップ半分～1杯程度の水分・塩分を20～30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。
- 3 飲酒時の補給：アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上の水分を排泄するので、飲酒後は、水分を十分に補給する。
- 4 空調装置使用時の補給：室内は空気が乾燥することから、気がつかないうちに脱水が生じる。こまめに水分を補給する。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3より

熱中症おしらせ機能

ゲートウェイ本体周囲の温度・湿度が規定値以上になると「厳重警戒」「危険」の2段階でお知らせします。

《お断わり》

- 温度、湿度の組み合わせから得られる目安を表示するものです。個人差、体調により感じ方が異なる場合があります。
- ゲートウェイ本体から離れた場所や屋外は表示できません。
- 公的機関から発表される「注意」「警報」と一致しない場合があります。

熱中症予防指針

熱中症は気温が低くても、湿度が高くなると危険性が高くなります。日常生活における熱中症予防指針では、熱中症指標（WBGT）として「危険」、「厳重警戒」、「警戒」、「注意」の4通りで危険度をランク分けしています。

■ 日常生活における熱中症予防指針

温度基準（WBGT）	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険（31℃以上）	すべての生活活動でおおる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒（28℃以上31℃未満）		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒（25℃以上28℃未満）	中等度以上の生活活動でおおる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意（25℃未満）	強い生活活動でおおる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3より

1

2

3

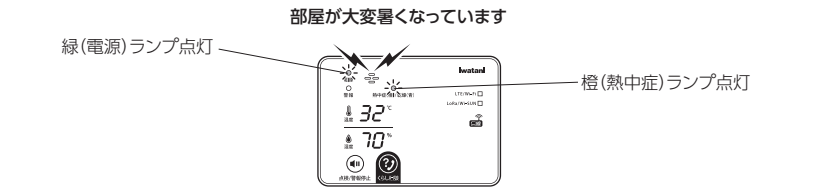
4

5

危険 (WBGT 31℃以上) になったとき

橙(熱中症)ランプの点灯から10分後に「**部屋が大変暑くなっています**」と鳴ります。また、橙(熱中症)ランプの点灯がさらに継続した場合、橙(熱中症)ランプ点灯後の40分後、70分後に再度、音声で危険をお知らせします。

それ以降は橙(熱中症)ランプの点灯のみで、音声はありません。
※ 危険(WBGT31℃以上)になったときに、点検/警報停止スイッチを押すと、「**ピッ 正常です**」の後に、「**部屋が大変暑くなっています**」と1回お知らせし、それ以降、自動でお知らせする音声は停止します。

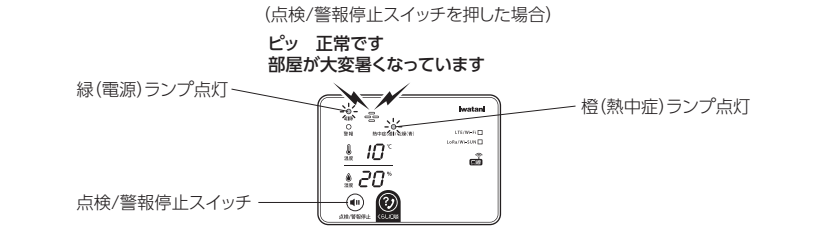


〈危険時の症状・対策〉

熱中症の危険があります。
特別な場合以外は全ての運動をやめて、体温の上昇に注意し、十分な休憩と水分補給を行ってください。
※ ゲートウェイ本体周囲が適切な温度環境になると、お知らせ状態は自動的に解除されます。

嚴重警戒 (WBGT 28℃以上31℃未満) になったとき

橙(熱中症)ランプが点灯し、この状態で点検/警報停止スイッチを押すと、「**ピッ 正常です 部屋が大変暑くなっています**」と鳴ります。



〈嚴重警戒時の症状・対策〉

熱中症の危険が高まっています。
激しい運動は避けて、積極的に休憩と水分補給を行ってください。
※ ゲートウェイ本体周囲が適切な温度環境になると、お知らせ状態は自動的に解除されます。

乾燥について

湿度が低くなるとインフルエンザウイルスの繁殖は活発になります。加湿器などで室内の湿度を調整しながら乾燥を防ぐことが必要となります。

■ 絶対湿度とインフルエンザ予測

絶対湿度	
[11g/m ³ 以下]	インフルエンザの流行が始まる湿度
[7g/m ³ 以下]	インフルエンザの流行が大きくなる湿度

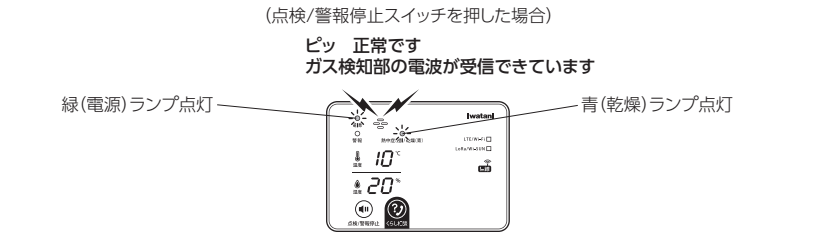
日本におけるインフルエンザの流行予測 地球環境Vol.8 No2,165-174(2003)より
・絶対湿度：空気中に含まれる水蒸気の量

乾燥おしらせ機能

ゲートウェイ本体周囲の温度・絶対湿度が規定値以下になると、青(乾燥)ランプが点灯し、お知らせします。

《お断わり》

- 絶対湿度や温度等から推測される季節性インフルエンザのウイルスの生存しやすさを表示するもので、ウイルスの存在を断定するものではありません。



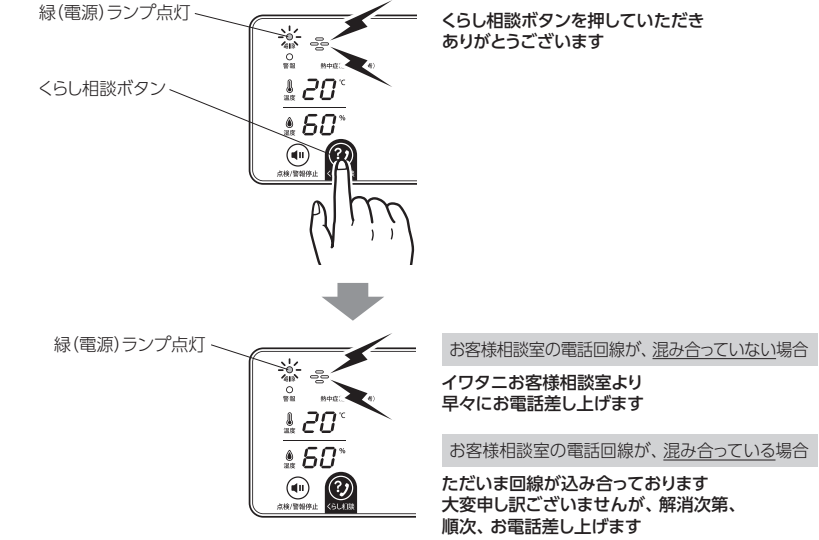
〈乾燥おしらせ時の症状・対策〉

インフルエンザウイルスに感染する危険があります。
手洗い・うがいを徹底し、加湿器などを使って、適切な湿度(50～60%)を保ってください。
※ ゲートウェイ本体周囲が適切な温度環境になると、お知らせ状態は自動的に解除されます。

くらしの中でお困りごとが発生したら

くらしの中でお困り時にくらし相談ボタンを押すと、LTE通信により、お客様相談室に連絡が入り、お客様相談室から折り返し連絡があります。

くらし相談ボタンを1秒押す
お客様相談室に連絡を行うときに使用します。
※ くらし相談ボタンを押しても、ゲートウェイ本体で直接、お客様相談室と会話できません。



その他の機能

その他の機能

ガス検知部またはゲートウェイ本体が故障しているときは

ガス検知部またはゲートウェイ本体が故障しているときは、以下のように動作します。

作動状況	ランプの状態		警報音
	緑(電源)	赤(警報)	
ガス検知部が故障しているとき	高速点滅	消灯	※1
ゲートウェイ本体が故障しているとき	高速点滅	消灯	※2

※1: 点検/警報停止スイッチを押すと、「**ピッピッピッ ガス検知部故障です**」とお知らせします。

※2: 点検/警報停止スイッチを押すと、「**ピッピッピッ ゲートウェイ本体故障です**」とお知らせします。

※販売店に連絡してください。

ガス検知部との無線通信がエラーになったとき

ガス検知部との無線通信がエラーになったときは、以下のように動作します。

作動状況	ランプの状態		警報音
	緑(電源)	赤(警報)	
ガス検知部との無線通信がエラーになったとき	高速点滅	消灯	※1

※1: 点検/警報停止スイッチを押すと、「**ピッピッピッ ガス検知部の電圧が受信できません**」とお知らせします。

鳴動原因表示機能

過去10日間にゲートウェイ本体が動作したかどうかを確認することができます。点検/警報停止スイッチを約1秒間押すと、過去10日以内で最後に行ったゲートウェイ本体の動作を、下表のランプ表示でお知らせします。
※ 電源を投入してから約25分以内に起こったゲートウェイ本体の動作の履歴は表示しません。

過去のゲートウェイ本体の動作	ランプの状態	
	緑(電源)	赤(警報)
警報なし	消灯	消灯
ガス警報	消灯	1秒点灯
ゲートウェイ本体の故障警報	消灯	1回点滅
ガス検知部の故障警報	消灯	2回点滅

ランプ表示・音声出力事象一覧表

ランプ						音声内容	事象	対応方法
緑(電源)	赤(警報)	橙(熱中症)	青(乾燥)	緑/赤(LTE/Wi-Fi)	緑/赤(LoRa/Wi-SUN)			
点灯	消灯	消灯	消灯			なし	通常動作(監視中)	ー
点灯	点灯	消灯	消灯			ウーウーピッピッピッピッ	ガス警報	P.4-5 参照
点灯	消灯	点灯	消灯			なし	熱中症おしらせ(嚴重警戒)	P.5-6 参照
点灯	消灯	点灯	消灯			部屋が大変暑くなっています	熱中症おしらせ(危険)	P.5-6 参照
点灯	消灯	消灯	点灯			なし	乾燥おしらせ	P.5-6 参照

ランプ						音声内容	事象	対応方法
緑(電源)	赤(警報)	橙(熱中症)	青(乾燥)	緑/赤(LTE/Wi-Fi)	緑/赤(LoRa/Wi-SUN)			
高速点滅	消灯	消灯	消灯			点検/警報停止スイッチを操作したとき、 「ピッピッピッ ガス検知部故障です」 のメッセージが鳴る。	ゲートウェイ本体の故障警報(ゲートウェイ本体が故障診断機能により故障と判断した状態)	販売店に連絡してください。
高速点滅	消灯	消灯	消灯			点検/警報停止スイッチを操作したとき、 「ピッピッピッ ガス検知部故障です」 のメッセージが鳴る。	ガス検知部の故障警報(ガス検知部が故障診断機能により故障と判断した状態)	販売店に連絡してください。
高速点滅	消灯	消灯	消灯			点検/警報停止スイッチを操作したとき、 「ピッピッピッ ガス検知部の電圧が受信できません」 のメッセージが鳴る。	ゲートウェイ本体とガス検知部との無線通信エラー	販売店に連絡してください。

※ 故障したときは、上記以外のランプ表示、音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

	ランプ		音声内容	事象	対処方法
	緑/赤(LTE/Wi-Fi)	緑/赤(LoRa/Wi-SUN)			
ゲートウェイ本体電源接続時	赤点灯	☆	なし	LTEシリアルポートエラー(くらし相談ボタンによる通信ができません)	販売店に連絡してください。
	赤点灯	☆	なし	Wi-Fi初期化エラー	販売店に連絡してください。
	緑点滅 ^{※2}	☆	なし	LTE/Wi-Fiインターネット接続エラー	販売店に連絡してください。
	☆	赤点灯	なし	LoRaシリアルポートエラー	販売店に連絡してください。
	☆	赤点灯	なし	Wi-SUNシリアルポートエラー	販売店に連絡してください。
	☆	赤点灯	なし	内部シリアルポートエラー	販売店に連絡してください。
使用中	緑点灯	☆	なし	クラウドとの接続エラー	販売店に連絡してください。
	緑点滅	☆	なし	LTE接続エラー(くらし相談ボタンによる通信ができません)	販売店に連絡してください。
	☆	緑点灯または緑点滅	なし	ガスメーターとの接続エラー	販売店に連絡してください。

☆: 無線通信の状態によっては、ランプが表示する場合があります。
※1: ゲートウェイ本体を電源に接続した際、異常がなければ、LTE/Wi-Fiランプ、LoRa/Wi-SUNランプが緑色に2秒間点灯した後、消灯します。その後、通信確認などで、しばらくの間はランプが点灯または点滅があります。通信確認後、通信が正常な場合はランプが消灯します。ゲートウェイ本体使用中は、ランプは消灯しています。
※2: 緑点滅間隔は、0.25秒点灯、0.1秒消灯となります。
※ 故障したときは、上記以外のランプ表示、音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

温度/湿度エラー表示

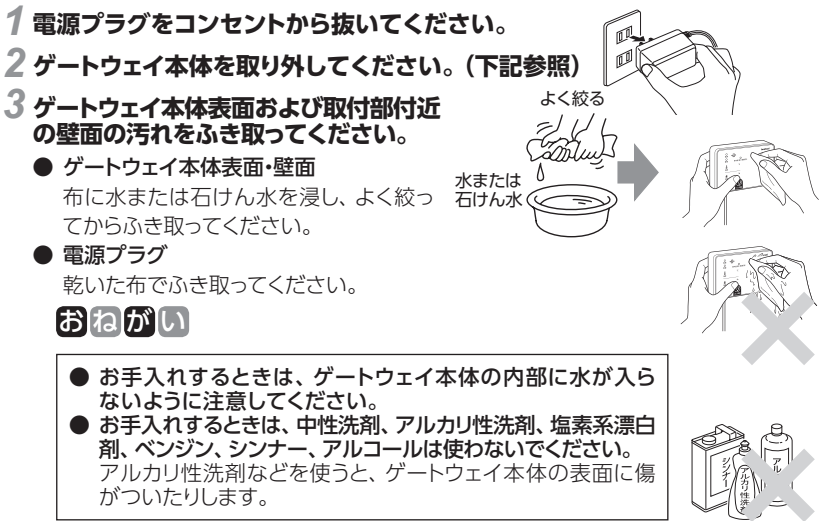
温度表示、湿度表示が「E」を表示したときは、温湿度センサの異常です。
販売店にご連絡ください。

ご使用中にゲートウェイ本体の電源プラグをコンセントから抜いた際のご注意

ゲートウェイ本体の電源プラグを再度コンセントに差し込み、以下の手順でガス検知部との無線通信の確認をしてください。
① ガス検知部の警報停止スイッチを1秒間押すとガス検知部の緑(電源)ランプが点滅し、「**ピッ**」と鳴ります。
② 無線通信に異常なければ、ガス検知部とゲートウェイ本体が以下のように鳴ります。その後、電波強度に応じて以下の3種類の音が鳴り、緑(電源)ランプが点灯します。ガス検知部:「**ガス検知部正常です ゲートウェイ本体の電圧が受信できています**」ゲートウェイ 本体:「**正常です ガス検知部の電圧が受信できています**」【電波強度】電波強度(強):「**ピーーピーー**」電波強度(中):「**ピーーピーー**」電波強度(弱):「**ピーー**」※ 電波強度(中)(弱)ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度(中)(弱)の場合は販売店に連絡してください。

お手入れのしかた

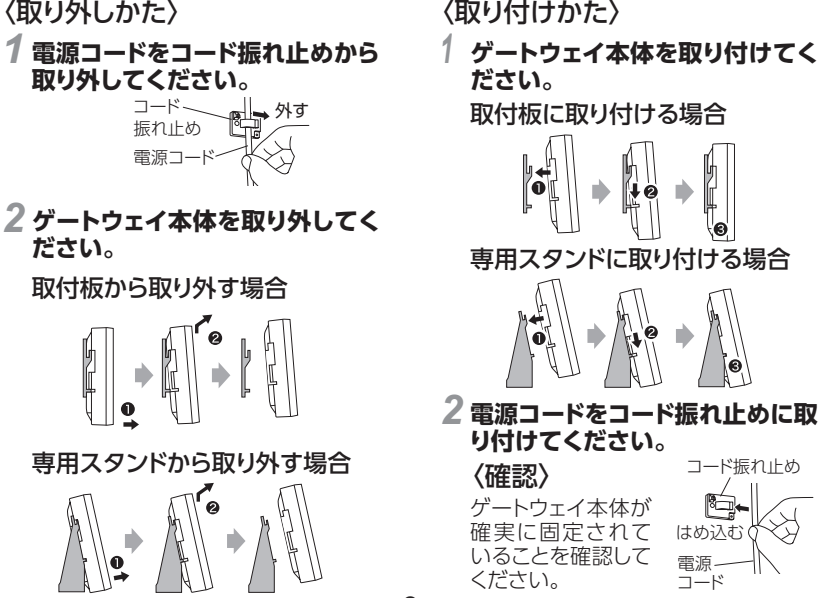
定期的にゲートウェイ本体表面および取付部付近の壁面のほこり、汚れをふき取ってください。



- ゲートウェイ本体を取り付けてください。(下記参照)
- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ゲートウェイ本体とガス検知部との無線通信の確認をしてください。

無線通信確認方法は、「ご使用中にゲートウェイ本体の電源プラグをコンセントから抜いた際のご注意」をご参照ください。

ゲートウェイ本体の取り外し・取り付けかた



定期点検

日常の点検

日常、ゲートウェイ本体の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。
※ 緑(電源)ランプが消灯もしくは高速点滅している場合は、「**故障かな?と思ったら**」の項目、処置を確認してください。
処置をしても異常がある場合は販売店に連絡してください。
また、LTE/Wi-Fiランプ、LoRa/Wi-SUNランプが消灯していることを確認してください。
※ LTE/Wi-Fiランプ、LoRa/Wi-SUNランプが緑色に点灯または点滅している場合は、販売店に連絡してください。



警報機能の点検

ゲートウェイ本体は定期的に(1ヶ月に1度)以下の手順でスイッチを押して、正常に動作するか点検してください。

〈点検のしかた〉

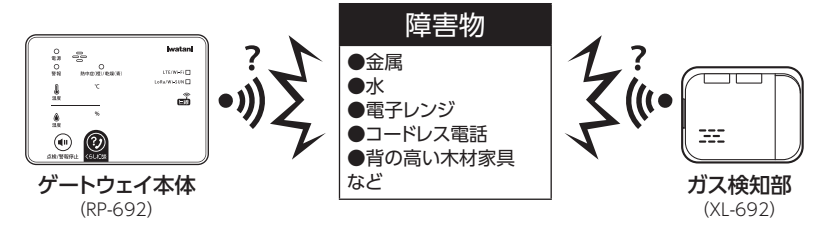
- 点検/警報停止スイッチを1秒間押すと、緑(電源)ランプが点滅し「**ピッ**」と鳴ります。
- 約10秒後に、緑(電源)ランプが点灯し、正常であれば「**正常です ガス検知部の電圧が受信できています**」と鳴ります。その後、電波強度に応じて以下の3種類の音が鳴り、監視状態に戻ります。【電波強度】電波強度(強):「**ピーーピーー**」電波強度(中):「**ピーーピーー**」電波強度(弱):「**ピーー**」※ 電波強度(中)(弱)ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度(中)(弱)の場合は販売店に連絡してください。通信エラーの場合は、①の動作後、②の動作はせず、約10秒後に、「**正常です ガス検知部の電圧が受信できません**」と鳴ります。● 過去10日以内に警報が作動した場合のみ、緑(電源)ランプが点滅し、「**ピッ**」と鳴った後、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、点灯または点滅します。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑(電源)ランプが消灯している。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、ゲートウェイ本体の故障が考えられますので、販売店にご連絡ください。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	ゲートウェイ本体またはガス検知部の故障を知らせています。	販売店にご連絡ください。
	ゲートウェイ本体とガス検知部の通信エラーが考えられます。	販売店にご連絡ください。
ガスモデルではないのに、赤ランプが点灯している。	原因を調べてください。	ガス検知部を設置しているドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。赤ランプの点灯や警報音が止まります。処置をしてもランプが消灯しない場合は、ガス検知部の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有料)
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
LTE/Wi-Fi用のランプが点灯・点滅している。	LTEまたはWi-Fi通信のエラーです。	ゲートウェイ本体の電源を入れ直してください。しばらくするとランプが消灯します。処置をしてもランプが消灯しない場合は、ゲートウェイ本体の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
	LoRaまたはWi-SUN通信のエラーです。	ゲートウェイ本体の電源を入れ直してください。しばらくするとランプが消灯します。処置をしてもランプが消灯しない場合は、ゲートウェイ本体の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。

無線通信の不具合について

ゲートウェイ本体またはガス検知部の周囲に障害物があると、ゲートウェイ本体とガス検知部の無線通信に不具合が発生する場合があります。無線通信の不具合があった場合は、販売店に連絡してください。



標準使用期間

- ゲートウェイ本体の標準使用期間は、ゲートウェイ本体のお取り付け日から10年後です。
- 標準使用期間を過ぎたゲートウェイ本体は、通信エラー、警報を発しないなど誤動作のおそれがありますので、ぜひ新しいゲートウェイ本体とお取り替えください。
- ゲートウェイ本体の標準使用期間を過ぎたときは、販売店までご連絡ください。

廃棄について

本ゲートウェイ本体の廃棄の際は、お買い求めの販売店に連絡してください。販売店に契約内容を確認した上で、廃棄方法については、販売店の指示に従ってください。

アフターサービス

- ゲートウェイ本体に異常がある場合は、修理を依頼される前にP.9「故障かな?と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店に連絡してください。
- 添付の保証書に基づき、保証期限はゲートウェイ本体のお取り付け日から5年間となります。万一異常が生じた場合は、速やかにお買い求めの販売店に連絡し保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づき、販売店が点検または交換いたします。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店に連絡してください。
- 引越しをされるときは、販売店に連絡してください。

著作権について

- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- LoRaはSemtech Corporationの登録商標です。
- LTEは、欧州電気通信標準協会(ETSI)の登録商標です。
- Wi-SUNはWi-SUNAllianceの登録商標です。

その他各社の製品名は各社の商標または登録商標です。本書では、TM、(R)、(C)等のマークは省略しています。

仕様

項目	仕様
通信	920MHz帯無線：イワタニゲートウェイ ガス検知部(以下、ガス検知部)と連動動作 LTE：Web上のクラウドサーバーとの通信 LoRa：ガスメーターとの通信 Wi-SUN：電気スマートメータとの通信 Wi-Fi：スマートフォン・スマートスピーカー等との通信
温湿度表示	アグメントLEDディスプレイ(以下、ディスプレイ)による表示 温度：-9℃ ～ +99℃ (-10℃以下は[Lo]、100℃以上は[H]と表示) 湿度：0% ～ 99%(上下限値) 表示更新周期：1分
快速環境おしらせ仕様	温湿度検知方式 温度：接触式、湿度：静電容量式 危険 作動条件 31℃以上(WBGT値)
	表示・発音方式 橙ランプ点灯 音声合成音 嚴重警戒 作動条件 28℃以上31℃未満(WBGT値)
	表示・発報方式 橙ランプ点灯 警報停止スイッチ押下時音声合成音 乾燥おしらせ 作動条件 絶対湿度7g/m³以下 温度30℃未満
ガスメーター無線連動(LoRa)	ガスメーター通信機能 別売のガスメーター用ガス無線機と無線接続し、ガスメーター用ガス無線機の電池切れ、ガスの使用状況、ガスの残量などの情報を受信する。ガスの使用状況、ガスの残量などの受信した情報を、後述するLTE通信によりクラウドに送信する。また、クラウドからの指令により、ガスメーターの遮断、復帰操作を行う。
	適合無線装置(ガスメーター) E型ガスメーター用ガス無線機：RM-692A ガスメーター用ガス無線機：RM-692B いずれか1台
	無線方式 LoRa(LoRaモジュールを搭載) 使用周波数：920MHz帯
電力スマートメーター無線通信(Wi-SUN)	電力メーター通信機能 電力スマートメーターと無線接続し、使用状況などの情報を受信する。受信した情報を、LTE通信によりクラウドに送信する。※ご使用される場合は、電力会社への申込が必要です。但し、既にHEMSを設置し、電力スマートメータと接続している場合は本機能は使用できません。
	無線方式 Wi-SUN(Wi-SUNモジュールを搭載) 使用周波数：920MHz帯
クラウドアクセス機能	クラウドアクセス機能 LTEによりクラウドにアクセスし、様々な情報の送受信を行う。なお、ユーザーはスマートフォンやPCを用いてクラウドにアクセスし、クラウドに集められた情報を閲覧することができる。送受信する情報の例 送信：ガス警報の有無、ガス検知部の故障の有無 ガス検知部・ゲートウェイ本体の使用期間 温湿度センサ取得値、ガスメーター用無線機の電池切れ 各メーターより取得したガス・電力の使用状況、ガス残量などの情報 くらし相談ボタン押下によるお客様相談室への連絡 など
	接続先サーバー イワタニゲートウェイ データセンター
	無線方式 LTE(LTEモジュールを搭載) キャリア、使用周波数：KDDI(au)、800MHz帯、1.7GHz帯、2GHz帯
スマートフォン、スマートスピーカー無線通信(Wi-Fi)	スマートフォン等通信機能 スマートフォンやスマートスピーカーと無線接続し、ゲートウェイ本体の設定などを行う。
	無線方式 Wi-Fi(Wi-Fiモジュールを搭載) 使用周波数：2.4GHz帯、5.2GHz帯
	電源 AC100V±10%、50/60Hz共用
	消費電力等 最大消費電力：約4W、監視時：約3W
	標準使用期間 取付け後10年
	使用温度範囲 -10℃ ～ +40℃(結露しないこと)
共通仕様	質量および寸法 約430g(取付板含む) 幅155×高さ110×奥行き30mm(突起部、取付板含まない)
	取付方法 付庫の取付板(樹脂製)への引掛取り付けまたは専用スタンド(樹脂製)への引掛取り付け
	電源コード 長さ2.5m
	付属品 取付板(樹脂製)×1、専用スタンド×1、両面テープ×2、コード振れ止め×2、木ねじ(φ3.1×10)×4、ピン(φ1×20mm)×4、取扱説明書(保証書付)×1、施工説明書×1

※1: 電源投入後1時間以内は、快適環境おしらせ(熱中症/乾燥)の動作は行いません。